

心ふれあい SA 吹田通信 第 172 号

発行 SA 吹田 ☎ 06-6170-7281 〒564-0072 吹田市出口町 19 番 2 号 ボランティアセンター内
ホームページ <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp/active/suita/index.html> ブログ:心ふれあいSA吹田

「会員の広場」欄を新設いたします。

SA吹田通信の記事内容の刷新の一環として今月号から「会員の広場」欄を設けることにいたしました。

広く会員のお一人お一人の「今の私」を基本テーマに、日常生活・活動状況、思い、健康に関すること、などさまざま声をいたさき掲載していきたいと計画しました。自由なテーマで

記事を寄稿していただけたら有り難く存じます。広報部からも積極的に名簿をもとに無作為に原稿依頼をさせていただきますのでご協力をお願いいたします。早速今月は、9名の方にお願いしましたところ、快く5名の方から投稿をいただきました。誠にありがとうございました。
(広報部長 小川忠夫)

会員の広場

私の60代

佐藤千づ子 (竹谷町 H26 年入会 ONCC/おもちゃ学校)

61歳でめでたく定年退職。夫は退職後さっさとやることを見つけ、いきいきと！じゃあ私とも思っても……。ご近所づきあいも薄く、子ども達も巣立っている。そこでまず、人の中に入ろうと老人大学に、この際だから全く初めてのことに挑戦しようと、油絵を選んで3年間、下手くそでも楽しかった。友達に誘われ能面打ちも、そんなころ兄夫婦と暮らしていた母91歳を「見送り」。福祉もやってみたくなりONCCへ、そしてSAのおもちゃ学校、和食、革細工、水彩画、

陶芸、昨年からは野菜作りにも挑戦、これがまた一番難儀。お天気と雑草取りと害虫とカラス対策、それに夏は暑さと蚊、まだまだ……。野菜それぞれの特徴、肥料と大変!!。夏野菜が終わった今は、冬野菜の種まきの支度をしている。年が明けたら70歳になる。近くに住む娘から来年小学一年生になる孫の学童保育をやってほしいと頼まれた。あゝ…自由気ままだった私の60代が終わる。

過去を振り返り今思うこと

私も早や米寿を迎える。SA16期生です。

あらゆる分野で活動し、失敗を重ねながらの半生でした。ボランティア活動には定年がありません。余生を送るには、まだまだ役立つことがあります。多くの友を得る、青少年との交流の中で若さを与えてくれる。有難う、元気でね、また会いましょう、の合言葉は次の行事の糧になります。公的な仕事の合間に、ボランティア活動を続けてこられたのは実践の中での体験活動です。ボケ防止に大いに役に立ちます。

宮浦ミネ子(古江台 H16年入会 SA地域)

最後に一言、現代の子供は、あらゆる環境に恵まれ過ぎ、忘れ去る「いたわり、助け合い、思いやり」の心が失われつつあります。

何気なく咲く野草、花などをゆっくり観察したことがありますでしょうか!! 踏まれても土に根を張り一年中生きようとしています。その判断力、根性を!!子供たちが途中挫折しないように今後の育成を会員の皆様をお願いしたいと思います。

私の思い出(雑感)

牛田敏英(千里山竹園町 H17年入会 SA地域)

私たちがSA講座を終了した頃は、社会に役立つ人材育成を目的にシルバーアドバイザー養成講座(SA講座)や、NPO活動の促進などの施策が実施されていました。

吹田市でも「すいたシニア環境大学(SGC)」を立ち上げ、環境問題の担い手の育成を図っていました。こうした背景の所為か、我々世代の大半は、社会とのかかわりを持つことに抵抗感はありませんでした。

ご多分に漏れず、私も、先ずは「SGC」で学ぶことを選択し、次いで「SA講座」を受け、当然の帰結としてNPOやSA吹田に入会しました。

今、当時を振り返って思い出すことは、

「SA講座」では、社会とのかかわり方、老後?の生活に必要な色々なことを学びました。「教養」「教育」「PPK」などは一例です。

常に社会と関係を持った生き方を続けることは、自身の健康維持に大切であることが、実感できます。今は、活動の中心を「すいた環境学習協会(SELF)」に置いています。SAでは、「歌体操」のあり方について議論させて頂いたことがあります。その後の皆様のご尽力で、大阪府全体をリードする立派な活動組織になっていることは嬉しい限りです。心ふれあいSA吹田の益々のご発展を祈念します。

私の趣味

熊田真也(五月が丘 H18年入会 SA世代間交流)

平成18年に大阪府シルバーアドバイザー養成講座を修了後、主に子どもたちを対象にした「おもちゃづくり」の指導を通じて地域の小学校、公民館、博物館などでボランティア活動を継続しています。また、「SAのおもちゃ学校」の指導員として、企画、材料の準備、そして作り方の指導などに携わっています。広くおもちゃづくりは私のよろこびの一つと言えます。

健康づくりのためにグラウンド・ゴルフに精進しています。週に2、3回、小学校、市立総合グラウンド、近くの公園などで練習をしています。

今年8月に地区体育振興会主催の大会、「第22回五月が丘カップ杯」に参加しました。五月が丘周辺の竹谷、片山地区のメンバー80人が参加し、小生が男女合わせて総合優勝をしました。当日は中学校でのナイ

ターの大会でしたが、少しやわらかなグラウンドであったことと運にも恵まれスコアは2ラウンド(パー48)のところ「32」(2回のホールインワンを含む)の成績を収めることができました。商品として350mlの缶ビール1ダースと持ち回りの優勝カップを取得しました。大会後みんな缶ビールで乾杯!!

最高の真夏の夜でした。来年も連覇を目指して頑張ります。



「会員の広場」投稿要領

- ・テーマ：原則自由。日頃の生活・活動状況、思い、趣味、健康情報、俳句・川柳旅行記、譲ります情報ほか 400~500文字程度、写真があれば添えてください。
- ・投稿方法：郵送の場合の郵送先：〒565-0004 吹田市原町3-7-2 小川忠夫
FAX:06-6388-3380 メールアドレス：ogawatadaosasuita@yahoo.ne.co.jp

私の今 思うこと

佐藤宏一 (五月が丘 H18年入会 SA国際交流)

私は、SA吹田で2007年「輪と和(コミュニケーションと思いやり)を高める組織」をめざし「心ふれあいネット」の展開を図りました。①歌体操懇談会 ②おもちゃ懇談会 ③国際交流懇談会 ④ブロック長懇談会を推進しました。現在の「心ふれあいSA吹田」の原点です。そして、2016年アクティブシニアがあふれる大阪事業で、ゆいぴあ(夢つながり未来館)に吹田市の多くの皆さんと健康長寿を目指したトレーナー養成講座を学習しました。アクティブシニア層が活性化され、市民としての役割を担うことが出来ます。また、長年積み重ねてきた経験を次の世代に伝える機会を持つことで、世代継承の役割を遂行することも可能になります。何よりも、次に続く世代が、シニア層の社会貢献と、生き活きとした姿を見いだしていきたいと思っています。本年度高大10周年記念誌を発行しました。次に紹介いたします。

「高齢者が動けば社会が変わる」

(認定NPO法人 大阪府高齢者大学の挑戦)です。

2017年4月10日に発行されたこの本に、執筆者の一人として参画しました。

私は、2008年SA連協理事長としてボランティア活動の実践を学び、その後、現在のNPO法人大阪府高齢者大学に從事してきました。その歴史を記録に残し後世に引き繋いでいかなければという思いで編集に打ち込みました。

活動の範囲は、老人大学から大阪府高齢者大学の立上げ、大阪のみならず他県や東日本被災者支援大学の運営、海外(中国・ヨーロッパ等)にまで広げ、国際交流を継続するなど、多岐に渡る活動を紹介していま

す。是非、皆様に一読いただきたく思います。

- ・第一部:NPO法人大阪府高齢者大学のあゆみ;佐藤宏一著
 - ・第二部:多様な視点からみた高齢者の社会活動;堀 薫夫(大阪教育大学教授)、他著
 - ・第三部:超高齢社会へのNPO法人大阪府高齢者大学の挑戦;柏木 宏(大阪市立大学名誉教授)、佐藤宏一、和田征士(高大理事長)、他著
- 発行所:ミネルバ書房 定価:1,800円+税

注:2017年9月14日大阪府高齢者大学は認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)となりました。運営組織および事業活動が適切かつ公益の増進に資するものとして、所轄庁(大阪市)の認定を受けました。今後も、福祉、教育、文化、地域等における社会的課題の解決を目指しより一層活動してまいります。



(佐藤宏一氏は 元SA吹田会長、現大阪府高齢者大学会長 兼 大阪アクティブシニア協会 理事長)

「会長コラム”徒然なるままに”」

今井正三郎

外に出ていろいろなことができる季節になりましたが、私残念ながら人間ドックで循環器疾患が見つかり、入院致します。皆様にご迷惑をおかけします。退職後も家内と人間ドックでの検診は続けています。家内も人間ドックで癌が見つかり手術しましたが、今では元気に飛び回っています。75歳以上の方は26,000円を上限として、人間ドック費用助成事業(大阪府後期高齢者医療広域連合)で、費用助成が受けられます。是非人間ドックを受信されることをお勧めいたします。会員の皆様が健康であってもらう為に、できるだけ多くの健康に関する情報を発信していきます。

福祉授業支援(高齢者疑似体験)報告

福祉部会 沖村史生

9月8日(金)千里新田小学校 4年生 4クラス 126人 2・3時間目に実施。SA吹田スタッフ 8名と地区福祉委員4名で対応した。

児童のコメント:「ゴーグル使用見えない25%」「軍手使用ペットボトルのキャップ開けにくい25%」「色々なところに力が必要と感じた」「紙コップを押さえてもらって良かった」「軍手をしていて本・新聞めぐりにくく時間がかかった」「給水時ストップと声掛けがあり、こぼさずにすんだ」「段差昇降時怖かったが手を引いてもらって良かったです」「声掛け・手を引いて

もらって安心してできて良かった」このように、高齢者疑似体験を通して子ども達が小さなことではあるが、高齢・障がい者の方に対する“声かけによる安心感”が得られるという事が理解できたかな!! 今後とも、SA吹田福祉部会として第二・第三弾と社会福祉協議会に協力、福祉教育



を進める。

10月度予定

SA吹田全般	時間	内容	担当	場所
10月4日(水)	10:00~12:00	おもちゃ部会	丹羽史朗	市立総合福祉会館
10月9日(月)	10:00~12:00	広報部会	小川忠夫	SAハウス
10月13日(金)	10:00~12:00	役員会	藤川安高	アイフステーションビル
10月13日(金)	12:30~13:00	福祉部会	沖村史生	アイフステーションビル
10月16日(月)	10:00~12:00	歌体操部会	加藤昌子	夢未来館リハーサル室
10月27日(金)	10:00~12:00	印刷/ブロック部会	小川・沖村	亥子谷コミュニティセンター
おもちゃ部会	時間	内容	担当	場所
10月7日(土)	14:30~16:30	おもちゃ箱・未来 工作C教室	畑 貞造	夢つながり未来館
10月10日(火)	10:00~16:30	おもちゃ学校	小川忠夫	夢つながり未来館
10月14日(土)	14:30~16:30	子ども工作B教室	新井 憲	夢つながり未来館
10月21日(土)	14:30~16:30	子ども工作A教室	小川忠夫	夢つながり未来館
10月24日(火)	10:00~12:00	おもちゃ箱・未来 例会	畑 貞造	夢つながり未来館
10月28日(土)	14:30~16:30	子ども工作D教室	堀 忠昭	夢つながり未来館
福祉部会	時間	内容	担当	場所
10月20日(金)	9:30~12:30	高齢者疑似体験	沖村史生	吹田第一小学校
10月30日(月)	10:40~12:20	高齢者疑似体験	沖村史生	北山田小学校
歌体操関係	時間	内容	担当	場所
10月10日(火)	10:00~12:00	歌体操 H&S グループ	加藤昌子	夢未来館リハーサル室
10月24日(火)	10:00~12:00	歌体操 H&S グループ	加藤昌子	夢未来館リハーサル室
市民塾関係	時間	内容	担当	場所
10月3日(火)	10:00~12:00	歌体操介護予防市民塾	加藤昌子	夢未来館リハーサル室
10月14日(土)	10:00~12:00	SA吹田おもちゃづくり市民塾	丹羽史朗	北千里公民館
10月17日(火)	13:30~15:30	エコおもちゃ作り市民塾	小川忠夫	SAハウス
10月17日(火)	10:00~12:00	歌体操介護予防市民塾	加藤昌子	夢未来館リハーサル室

編集後記 新設の「みんなの広場」いかがでしょうか? 投稿、よろしくお願いします。(a.m)